

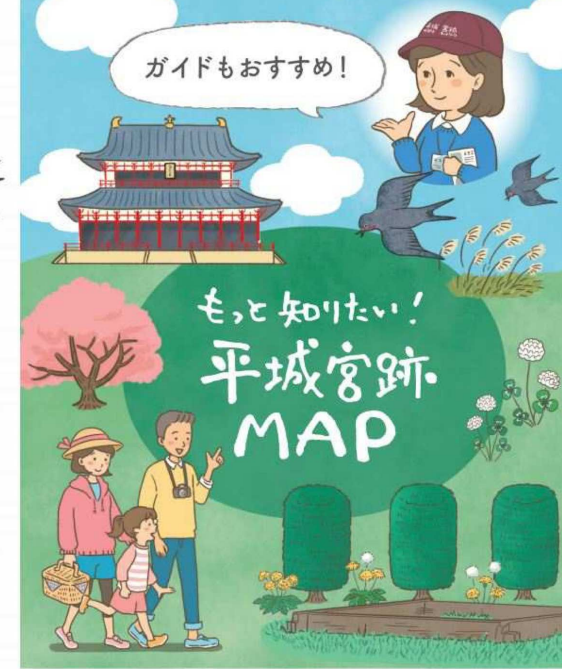
平城宮跡散策MAP



平城宮跡を愛する
ボランティアガイドの
わたしたちだから知っている
とっておきをご案内します〜す〜
詳細は裏面へ！

※第一次大極殿を取り囲む「南門」、「東楼」、「西楼」、「築地回廊」は順次復原整備される予定です。

- | | | | |
|---------------------|-----------------|----------------------|-----------------------|
| 1 第一次大極殿から大パノラマを望む | 8 初めて使用された鬼瓦 | 15 朱雀門前の墨絵弾弓の図 | 22 なんと平城宮跡に駅が・・・！ |
| 2 一番高いところにある第一次大極殿 | 9 国宝木簡のデパート | 16 東大寺の西大門に至る二条大路 | 23 消えた尼寺！西隆寺 |
| 3 第一次大極殿基壇は巨大な免震装置 | 10 東院庭園の築山石組 | 17 はるか長安の都に向く舳先(へさき) | 24 万能だった街路樹 |
| 4 平城宮第一号木簡出土地 | 11 阿弥陀浄土院跡 | 18 緑の円柱はなに？ | 25 ツバメのねぐら入りを知っていますか？ |
| 5 大極殿 なぜ二つ？ | 12 二つの朝堂院 | 19 平城宮の面影をとどめる建物 | 26 近鉄線道床に使われたバラスト(砕石) |
| 6 平城宮「内裏」は正倉院宝物のルーツ | 13 奈良時代の大嘗祭 | 20 壊された前方後円墳 | 27 隆光大僧正 故郷に眠る |
| 7 宝幢・四神旗(幡)の配置 | 14 近鉄線の北側に二つの石碑 | 21 消えた前方後円墳 | 28 いざない館で小路を体感 |



もっと知りたい！ 平城宮跡MAP

ガイドもおすすめ！
平城宮跡歴史公園
Nara Palace Site Historical Park
〈企画協力〉NPO平城宮跡サポートネットワーク

- 深く・広く 知ろう 美しい風景 を守ろう 未来に 残そう
- アクセス
- 大和西大寺駅南口から 徒歩約20分
 - 新大宮駅から 徒歩約20分
 - 近鉄奈良駅・JR奈良駅西口から
路線バス学園前駅行き(160系統)「朱雀門ひろば前」下車
 - 近鉄奈良駅から
ぐるっとバス「朱雀門ひろば前」下車
 - 大和西大寺駅から
ぐるっとバス「朱雀門ひろば」下車
- 〈平城宮跡歴史公園へは公共交通機関をご利用ください。〉



発行日 / 2021年 3月
企画協力 / NPO平城宮跡サポートネットワーク
発行 / 平城宮跡歴史公園 平城宮跡管理センター
〒630-8012 奈良県奈良市二条大路南3-5-1
TEL. 0742-36-8780



1 第一次大極殿から大パノラマを望む

東から、山頂に鶯塚古墳のある若草山、白鹿伝説の御蓋山(みかさやま)、大文字焼きの高円山、大神神社御神体の三輪山、万葉集に詠われた二上山、田島間守(たじまもり)伝説の垂仁天皇陵、古道の通じる暗峠、スカイツリーとほぼ同じ高さの生駒山が望めます。



2 一番高いところにある第一次大極殿

平城宮跡の北には平城山の丘。三本の低い尾根が延び、西の尾根には大極殿、中央に内裏、東に東宮が置かれました。大極殿の標高が高く、南へ下り坂。約8m低い朱雀門、約20m低い羅城門。



3 第一次大極殿基壇は巨大な免震装置

基壇には、三種類の免震装置があります。リニアスライダー44基、天然ゴム系積層ゴム6基、壁型粘性体ダンパー4基で、震度7にも耐えうるとされています。そのため建物に取り付ける構造補強を少なくすることができます。



4 平城宮第一号木簡出土地

1961年(昭和36年)1月24日、推定大膳職から平城宮跡で最初の木簡が出土しました。第一号木簡は寺から小豆、番、酢、末番の四種類の食材を請求したもので、ここが食材を扱う大膳職であったことを推定する手になりました。
※NPO平城宮跡サポートネットワークが1月24日を「木簡の日」と提唱



奈良文化財研究所提供

平城宮跡のスマのスマまで！
「えー！知らなかった〜！」
そんな魅力が盛りだくさん★



17 はるか長安の都に向く舳先(へさき)

朱雀門ひろばにある実物大の復元遣唐使船の舳先は、平城宮跡から約5000km真西にある長安の都(平城宮跡と長安の緯度は北緯34度)を向いています。船に乗って、当時の最新の文化を吸収するため西へ向かった人々に思いを馳せましょう。



18 緑の円柱はなに？

建物の掘立柱を円柱にくり込んだイヌツグで表しています。くり込みに強く自由に樹形が作れ、根が大きく張らないので地下の遺構を保護するのに適しています。内裏や推定大膳職に多く見られます。



19 平城宮の面影をとどめる建物

唐招提寺にある講堂は、もとは平城宮にあった官像が利用した控えの場である「東朝集堂」を移築したものです。大規模な改造が行われていますが、平城宮の建物として現在唯一残る貴重な建築物です。



5 大極殿 なぜ二つ？

第一次大極殿は、740年恭仁京遷都の際に移築されました。さらに難波、紫香楽へと移った都が5年後平城京に戻りました。その時、天皇が日常政務を行う東地区の大安置の建物を新しく建て替えたのが第二次大極殿です。



6 平城宮「内裏」は正倉院宝物のルート

第一次大極殿の東に位置する「内裏」(だいら)は天皇が政務を執り、日常生活をしたところです。正倉院に伝わる宝物の主ものは、聖武天皇の遺愛品のうち、東大寺大仏に献納されたものです。



正倉院宝物

7 宝幢・四神旗(幡)の配置

古代国家の重要儀式(即位式、元日朝賀等)に用いられた鳥形、日像、月像の宝幢・四神旗は、平城宮では大極殿の前に横一列に配置されていました。第二次大極殿の前に復元された三本柱の幡旗遺構を見ることができま



「文安御即位調度之図」
「(即位の礼と大嘗祭)神宮文庫」

8 初めて使用された鬼瓦

第一次大極殿の屋根の上で災いを近づけないように見守っている鬼瓦は、奈良時代前半に平城宮で使われていた紋様で、お相撲さんが見合った時のポーズをしています。NPO平城宮跡サポートネットワークのロゴマークにもなっています。



奈良文化財研究所提供



9 国宝木簡のデパート

遺構展示館北側の内裏北外郭官衙(役所)から、昭和38年に大量(約1800点)の木簡が出土しました。種類が多様多様であるでデパートのようで、その後の木簡研究に大きく貢献しました。現在の国宝木簡の礎にもなっています。



奈良文化財研究所提供

10 東院庭園の築山石組

日本庭園の石組の始原といわれます。急峻な山々と出入りのある汀が表現されており、正倉院宝物の「仮山」によく似ています。自然風景を模す中央の石は、見る人の心の有り様で色々な姿に見えるといえます。皆さんは何に見えるでしょうか。仙人・蟬(おうな)・お坊さん…



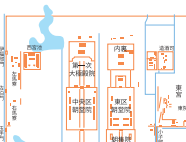
11 阿弥陀浄土院跡

東院庭園東側の田の中に、法華寺の阿弥陀浄土院跡があります。光明皇后の一周忌斎会のために、造営された寺の跡には極楽浄土を表した庭園の景石が残っています。



12 二つの朝堂院

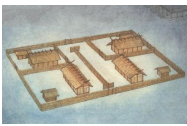
平城宮には四堂からなる中央区朝堂院と十二堂からなる東区朝堂院があります。朝堂院が二ヵ所あるのは平城宮にしかない特徴です。大極殿で即位や元日朝賀の儀式のあと、中央区朝堂院では宴をしたり、外国使節をもてなしたりしました。



〔特別史跡 平城宮跡〕奈良文化財研究所 へ改定

13 奈良時代の大嘗祭

大嘗祭とは天皇即位後に行われる最初の新嘗祭(にいなめさい)のことです。東区朝堂院の北側から五代の天皇(元正・聖武・淳仁・光仁・桓武)の大嘗宮跡が見つかりました。現在、光仁天皇の即位に伴う遺構をレンガで表示しています。



奈良文化財研究所 提供 早川和子 画

14 近鉄線の北側に二つの石碑

大正11年に第二次大極殿・朝堂院地区が国の史蹟に指定されました。これを記念して奈良大極殿趾保存会によって建てられた「平城宮趾保存記念碑」と「史蹟指定の石碑」が東区朝堂院前に東西に並んで残されています。



15 朱雀門前の墨絵弾弓の図

東大寺大仏開眼供養会を彩った異国風の歌舞は、朱雀門ひろばでも演じられていました。説明板のこの絵は、正倉院宝物の「墨絵弾弓の図」をもとに描かれ、演奏楽器や各種舞伎を知ることができます。



16 東大寺の西大門に至る二条大路

二条大路は朱雀門の南を東西に延びる重要な道路で、道幅は朱雀大路約74mに対して、2分の1の約37mでした。大路の東端は平城京の東七坊大路を交差し、東大寺の当時の正門である西大門に至ります。



20 壊された前方後円墳

21 消えた前方後円墳

第一次大極殿の北東に「平城天皇陵」(市庭古墳)があります。この古墳は墳長約250mの前方後円墳だったことが発掘調査で分かっています。平城宮造営時、後円部の一部だけが残されました。周濠の輪郭が道路脇の白い石で示されています。



国土交通省国営飛鳥歴史公園事務所 提供

22 なんと平城宮跡に駅が・・・！

その名はキャン・カー駅。場所は朱雀門付近。今の航空自衛隊奈良基地に米軍キャンプがあり、昭和22年3月から26年7月にかけて軍関係者のために設置された臨時駅。当時には珍しいカタカナ名の駅でした。



23 消えた尼寺！西隆寺

西隆寺は西大寺(僧寺)に対しての尼寺という位置づけで称徳天皇により建立されますが、鎌倉時代に廃寺となりました。昭和の発掘調査で明らかとなった金堂、塔、回廊、厨東門、南面築地塀などが、ならファミリーの一階の出入口等に説明されています。



24 万能だった街路樹

二条大路の南側(朱雀門ひろば付近)に街路樹として櫟(エンジュ)が2本植えられています。二条大路の溝から出土した木簡から、平城京内に街路樹として植えられ、漢方薬や染料として貢進させていたことがわかっています。



25 ツバメのねぐら入りを知っていますか？

平城宮跡では、復元事業情報館付近で毎年8月上旬の夕方から「ツバメのねぐら入り」が見られます。40年ほど前は、約1万羽だったそうですが、ここ数年は4万羽〜6万羽が記録されています。



26 近鉄線道床に使われたバラスト(碎石)

大正3年、近鉄(当時は大阪電気軌道)奈良線が開通。線路敷の道床材を調達するため、1km北方の佐紀町にある瓢箪山古墳、衛門戸丸塚古墳からトラック線を引き、墳丘のバラストや土砂を採取・運搬しました。



27 隆光大僧正 故郷に眠る

第一次大極殿の北、元幼稚園の園庭に小さな墓石があります。江戸時代將軍綱吉の側近として権勢を振るった隆光は東大寺をはじめ大和の寺社再興に尽力します。綱吉の死後、生類憐みの令への関与で失脚し、生まれ故郷佐紀の起昇寺で余生を過ごしました。



28 いざない館で小路を体感

平城京は、大(おおじ)小路(こうじ)の道路で区画されていました。いざない館の入口のドアが開くと広すぎる廊下が続いています。この廊下の幅(6m)はまさに小路の幅と同じです。

